

平成27年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市藤棚地域ケアプラザ

2 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行なったのか、事業計画書を基に具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

- ① 藤棚商店街の周辺に古くからの住宅密集地であり、急傾斜の坂道と狭小な道路が多く地域によっては緊急車両の通行が困難な地区も混在しています。高齢化率は、26.3%と西区では高い方です。30%を超えている町内会もあります。また、6歳未満の子どもが減少している地域もあり、自治会・町内会によっては子ども会がない地域もあります。
- ② 地域の課題としては自治会・町内会の役員の高齢化が顕著で、後継者探しに苦労されている自治会もあります。第3地区社会福祉協議会は体制が変わって2年目と言う事もあり、27年度も引き続き西区社会福祉協議会と連携して事務局の支援など更なる関わりを持ちました。
- ③ エリアには9つの福祉施設があり、福祉フェスタなどの行事を始め連携をしながら業務を進めました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ① 建物、空調設備、消防設備等の保守点検を定期的に行い、また日常清掃や消耗品の補充等における日常の管理を通して、ご利用者が安心して、また安全にご利用いただけるよう努めました。
- ② 地域ケアプラザの施設は様々な方が利用されるので、感染予防のために毎日トイレ、手摺、ドアノブ等の殺菌消毒を行いました。

イ 効率的な運営への取組について

- ① 地域ケアプラザの労務、経理等の事務処理に関して法人本部と連携して、業務や役割の分担を図りながら事務の効率化に努めました。また送迎車輛リース等の委託業者の選定にあたっては電子入札を実施し経費削減を図りました。
- ② 建物管理や保守に関しては、藤棚地区センターと複合施設のため共同委託することで、効率よく施設管理を行いました。

ウ 苦情受付体制について

- ① 法人で苦情解決規則を定めており、それに基づき地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、お客様からのご意見・ご要望、苦情等に対応しました。また法人では公正・中立の立場からあつせん、調整を行う第三者委員制度を設け、適切な苦情解決に向けての体制を整備し解決に取り組みました。
- ② ケアプラザでは「なんでもご意見箱」を設置し気軽にご意見がいただけるよう工夫しました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ①緊急時に落ち着いた行動が取れるよう年に2回デイサービスのお客様や貸室ご利用者を含めた避難、消火訓練を行いました。また、藤棚地区センターと共催で防災フェスタを開催し地域の方と防災意識を共有しました。
- ②地域に要援護者の特別避難施設であることのPRをするとともに、日頃から災害応急備蓄物資や防災対策マニュアルを整備し、職員の意識を向上して災害緊急時に備えました。
- ③第3地区の防災無線をケアプラザにも配置していただき、訓練に参加し必要時に活用しました。稲荷台小学校地域防災拠点管理運営委員として会議、訓練に参加しました。
- ④地震等の大規模災害発生時にサービスを必要とするお客様に可能な限り対応するため、事業継続計画（BCP）を整備しました。また、訓練を実施するとともに適宜見直しを行い適正な対応に備えました。

オ 事故防止への取組について

- ①介護サービスの提供中のヒヤリハットしたことなどを朝のミーティングにおいて報告し、職場内で注意を喚起しながら事故の未然防止を徹底しました。また所内での会議などにおいても他事業所の事故の事例や事業所内の事故防止マニュアルを活用するなど、事故防止に関する研修を組み入れ、職場における危機管理の意識を高めました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ①法人では個人情報保護規程を定め、地域ケアプラザでは個人情報の管理に関する担当者、責任者を定め、個人情報保護、情報セキュリティ研修を年1回行い意識の啓発に努めました。
- ②実際の個人情報の取扱いとして、契約書、記録類は施錠できるロッカーなどに保管しています。USBは紛失の恐れがあるため、個人情報のデータは所内サーバーを利用して紛失を防止しました。
- ③基本的には個人情報は外部へ持ち出し厳禁ですが、どうしても携帯が必要な場合には紛失や情報漏えいのないよう最小限の情報のみを携帯するようにしています。また、ファックスや郵送の誤送信が起らないよう、取扱い手順を決めて日常業務を行いました。
- ④デイサービスのお客様の記録書等の取扱いについては、誤返却防止のために、看護職員、生活相談員、介護スタッフで3段階チェックを行いました。
- ⑤研修ではご利用者の個人情報を大切に扱うことは「人を大切にする」ことと同義であり、サービスの基本である事を全員で確認しながら、チェックシートの活用により業務の振り返りを行いました。

キ 情報公開への取組について

- ①地域ケアプラザにおいて情報公開の請求があった場合には、法人で定めた情報公開規程にのっとり、積極的に情報を公開する事に努めました。
- ②ホームページを活用して各種事業に関する情報などを幅広く市民の方に提供しました。

ク 環境等への配慮及び取組について

- ①節電、節水、コピー用紙の裏面活用・ごみの減量化を励行し、経費削減に取り組みました。横浜市「ごみゼロルート回収」のルールに従い、資源ごみの分別収集を行いました。ご利用者の皆様にはごみの持ち帰りや館内での禁煙をお願いしました。また、使用していない部屋の照明をこまめに消し、暖房・冷房の季節には適切な室温を維持するなど、節電への取り組みを行いました。
- ②2ヶ月に1回、空気環境測定を行い、室内環境の適正な維持に努めました。外構の環境整備については、地域作業所の活動の場として清掃作業を委託しました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

- ①地域包括支援センター（看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャー）3名
- ②プランナー1名（非常勤）

《目標》

- ①介護予防支援計画の作成にあたっては、お客様の意思及び人格を尊重し、自立に向けて設定された目標を達成するために、お客様及びそのご家族の主体的な参加とともに、適切な保険・医療・福祉サービス及びボランティア団体等との連携を図り総合的なサービス提供の調整に努めました。可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができることを目標として支援しました。
- ②事業の運営に当たっては、公正中立な立場でサービス調整をしました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

原則、ご利用者負担金はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ①ご本人の心身能力、生活能力、意欲などを総合的にアセスメントし、意欲を引き出せるよう工夫しています。その際、人から必要とされ生きがいの持てる生活を送れることを目的としてお客様と一緒にケアプランを作成しました。
- ②居宅介護支援事業所に委託する場合も自立支援につながるようケアマネジャーの支援をしました。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
117	112	116	117	115	115
10月	11月	12月	1月	2月	3月
121	126	131	126	129	129

● 2. 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員 常勤専任 2名
常勤兼務 1名
非常勤兼務 1名

《目標》

- ①適正な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるように、公正中立な立場に立ち、居宅サービス計画を作成するとともに、サービス事業所等の連絡調整を行いました。
- ②事業の実施にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。
- ③居宅サービス計画の作成にあたっては、お客様の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、お客様が自立した日常生活を営むことができることを目標とし計画書を作成しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ①お客様から頂く負担金は、償還払いの場合を除き無料です。
- ②通常のサービス提供地域をこえる地域に訪問、出張する必要がある場合には、公共交通機関を用いて要した額を明細書等に基づいて徴収します。費用については、利用者又はその家族に対して事前に文書で説明した上で、支払いに同意する旨文書に署名（記名押印）を受けます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域ケアプラザは福祉・保健の活動拠点として、自治会・町内会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、ボランティア団体など、地域の様々な団体が日頃から地域ケアプラザを利用してもらえるように努めました。また、地域の身近な相談窓口として、誰もが気軽に立ち寄れて、相談できるケアプラザであるよう努めました。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
108	106	108	114	116	117
10月	11月	12月	1月	2月	3月
117	122	121	115	119	121

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ①お客様が自立した日常生活を営むこと及びお客様のご家族の負担を軽減させていただく事を目標にお客様の心身の特性を踏まえ、お体の状況に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、個別機能訓練、口腔機能訓練等を行いました。
- ②事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等と連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1）	692	円
（要介護2）	817	円
（要介護3）	947	円
（要介護4）	1077	円
（要介護5）	1206	円
・サービス提供体制強化加算（Ⅱ）	7	円
・個別機能訓練	60	円
・口腔機能訓練向上加算	161	円
・入浴介助	54	円
・同一建物減算	-101	円
・送迎減算（片道）	-51	円

● 2割負担分

（要介護1）	1383	円
（要介護2）	1634	円
（要介護3）	1893	円
（要介護4）	2153	円
（要介護5）	2412	円
・サービス提供体制強化加算（Ⅱ）	13	円
・個別機能訓練	120	円
・口腔機能訓練向上加算	322	円
・入浴介助	108	円
・同一建物減算	-202	円
・送迎減算（片道）	-101	円

・食費負担 650 円

・通常のサービス提供の範囲を超える費用・選択サービスメニューは全額負担。

・キャンセル料（前日の営業時間終了までにご連絡がない場合、食材料費450円をいただきました。）

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 8:45 ~ 17:00 （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

管理者	・ ・ ・ 常勤兼務	1名
生活相談員	・ ・ ・ 常勤兼務	4名
看護職員	・ ・ ・ 非常勤兼務	8名
介護職員	・ ・ ・ 常勤専任	2名
	常勤兼務	4名
	非常勤専任	16名

機能訓練指導員	・・・非常勤兼務	8名
調理員	・・・非常勤専任	6名
運転手	・・・非常勤専任	5名
事務員	・・・常勤兼務	1名
	非常勤専従	1名

《目標》

- ①お客様が自立した日常生活を営むことを目標にお客様の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じて通所介護サービスを提供しました。
- ②通所介護計画書の作成にあたっては、個別ニーズを把握しお客様の意思を尊重し、心身状況、環境等に応じて、お客様が自立した日常生活を営む事ができることを目標としました。
- ③職員の資質向上を図る研修を定期的に行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ①ご本人やご家族が見学を希望される場合には随時対応します。実際に見ていただいて不安を解消した上でご利用につながるようにお声掛けをしていきました。
- ②厨房で調理した温かくおいしい家庭料理を毎回提供し、季節感のある行事食メニューをお楽しみいただきました。
- ③おやつをお客様と一緒に作ることもあり、季節感のある嗜好品を凝らして楽しんでいただきました。
- ④8：45～17：00の内7時間のご利用をいただいております。到着した方から順次サービスを開始させていただき、充実したサービス提供を行いました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
734	758	754	780	803	778
10月	11月	12月	1月	2月	3月
762	753	706	678	708	759

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ①「介護予防サービス計画（介護予防ケアプラン）」と「介護予防通所介護計画」等に沿って、送迎、入浴及び食事の提供、生活等に関する相談・助言、健康状態の確認やその他お客様に必要な日常生活上の支援並びに機能訓練（日常動作訓練）を行いました。
- ②サービス提供にあたっては、「介護予防通所計画書」等に沿って、お客様ができることはご自分で行いながら、社会的交流を持つことで、潤いを持った生活を楽しんでいただけることを目標にしました。
- ③事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス事業者・ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要支援1）	1 7 6 6	円
サービス提供体制強化加算	2 6	円
（要支援2）	3 6 2 1	円
サービス提供体制強化加算	5 2	円
・運動器機能向上加算	2 4 2	円
・口腔機能向上加算	1 6 1	円
・複数実施（I）	5 1 5	円
・同一建物減算（要支援1）	- 4 0 3	円
・同一建物減算（要支援2）	- 8 0 7	円

● 2割負担分

（要支援1）	3 5 3 1	円
サービス提供体制強化加算	5 2	円
（要支援2）	7 2 4 1	円
サービス提供体制強化加算	1 0 3	円
・運動器機能向上加算	4 8 3	円
・口腔機能向上加算	3 2 2	円
・複数実施（I）	1 0 2 9	円
・同一建物減算（要支援1）	- 8 0 6	円
・同一建物減算（要支援2）	- 1 6 1 3	円

- ・通常のサービス提供の範囲を超える費用・選択サービスメニューは全額負担。
- ・キャンセル料（前日の営業時間終了までにご連絡がない場合、食材料費450円をいただきました）

● 食費負担 650 円

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 8:45 ~ 17:00 （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

管理者	・ ・ ・ 常勤兼務	1 名
生活相談員	・ ・ ・ 常勤兼務	4 名

看護職員	・ ・ ・ 非常勤兼務	8名
介護職員	・ ・ ・ 常勤専任	2名
	常勤兼務	4名
	非常勤専任	16名
機能訓練指導員	・ ・ ・ 非常勤兼務	8名
調理員	・ ・ ・ 非常勤専任	6名
運転手	・ ・ ・ 非常勤専任	5名
事務員	・ ・ ・ 常勤兼務	1名
	非常勤専従	1名

《目標》

可能な限り居宅において、要支援状態の維持、もしくは改善を図り、自立した日常生活を営むことができるよう、お客様の意欲を喚起しながら支援します。そのために、サービス提供の目標に基づいて「介護予防通所介護計画」等を作成し、サービスの提供を計画的に行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ①運動機能向上訓練をお客様個々のレベルに合わせて目標設定し、筋力の維持向上に努めました。
- ②通所介護事業と一体的に実施する中で、お客様相互の助け合いや学びあい、役割を持つ活動の中から意欲や楽しみをみつけていただけるように、お客様同士の交流に力を入れて事業を実施しました。

《利用実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
18	20	21	21	18	17
10月	11月	12月	1月	2月	3月
19	20	20	18	18	20

以下、地域ケアプラザ事業実績評価との共通部分（区と協議の上、策定してください。）

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ①子育て支援は、あそびの杜保育園と共催で季節感を取り入れた0～3歳児むけの事業「ピーナツクラブ」を13回開催し、毎回保育士による相談タイムを設けるとともに、包括の保健師等による感染症予防講座も取り入れ、子育て中の不安への対応を行っています。
- ②障がい児者支援は、従来の「とんぼ」を「オープンカフェ とんぼ」とし、受け入れの幅をひろげ、参加者が2名から5名に増え、障がい児者の母親もボランティアとして2名参加するようになり、気軽に相談できる体制づくりをしています。また、夏休み及び1月には西区自立支援協議会との共催でオープンカフェとんぼの利用者も参加できる、障がい児余暇活動支援事業に取り組みました。
- ③主に障がい者施設利用者の外出先として開催している「絵の会」は地域の高齢ボランティアの活躍場所ともなっており、27年度から地域の高齢者の参加もあり障がい理解の一步となっています。
- ④障がい者施設と定期的に顔の見える関係づくりを行う機会を持ち、個別ケースの相談についても障がい者施設や区等と連携を取りながら対応してきました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

- ①地域包括支援センター3職種と地域活動交流担当、所長で行う会議を毎月開催し、情報の共有を行いました。また、地域の要望に合わせて出前講座や食事会、認知症サポーター養成講座、民生委員の学習会、個別・エリア地域ケア会議についても全員で協力し対応しました。
- ②ケアプラザの事業に参加している利用者一覧を作成し、相談ケースとの付け合わせをしたことで、情報共有ができ、フォーマル・インフォーマルサービスに結びつける一助となりました。
- ③地域活動交流担当と包括担当で連携し、包括担当の介護予防のボランティアグループに対して『横浜シニアボランティアポイント登録研修会』を行いました。その際、ボランティアグループのみでなく、地域住民にも広く周知し参加を促しボランティア活動の啓発を行いました。
- ④地域活動交流事業と地域包括事業を掲載した一覧表を作成し、双方で対象となる方に情報提供しました。

3 職員体制・育成

- ①職員は1年間を通して変動はなく、介護保険事業については人員配置基準を順守して業務を行いました。
- ②法人内で年間研修計画を作成し、職員は可能な限り研修に参加しています。研修内容としては、新採用時研修、3ヶ月研修、中堅研修、管理職研修など階層別研修や職種別研修を行い参加しました。
- ③法人内で職種ごとの担当者会議を定期的に行い、各ケアプラザで実施している事業の紹介や課題などの情報交換を行い、担当者の専門性や資質の向上を図るよう切磋琢磨しています。
- ④外部の研修にも積極的に受講し、研修受講後には研修報告書を作成し、所内での伝達・回覧を行って、情報共有を行いました。
- ⑤所内、法人内の各種会議において、包括支援センター及びケアマネジャーの公正中立について確認を行いました。
- ⑥法人の人材育成ビジョンに基づいた人材育成を行っています。

4 地域福祉のネットワーク構築

- ① ケアプラザとして、第3・第4地区の地域の福祉保健活動団体と連携するために、連合町内会・民児協・地区社協・ふれあい会交流会・自立支援協議会の定期的な会合や行事に参加し、日常的情報交換を行いました。
- ② 「第3回第3地区ふれあい春まつり」、「防災活動拠点防災訓練」、「第3地区福祉フェスタ」など、事務局として地域のネットワークづくりを行いました。
- ③ 27年度はじめての取り組みとして、藤棚地域ケアプラザを利用する子育てサークルや地域で子育て支援を行っている団体・主任児童委員・子育て活動拠点・区・連合町内会が参加して「子育てネットワーク会議」を開催し、子育ての分野での顔の見える関係づくりの一步を踏み出しました。
- ④ 障がい児者事業「オープンカフェ とんぼ」の行事として開催していた「焼き芋大会」を、障がい児者と地域の交流の場として拡大し、地区センター・単位町内会・子ども会・地域の福祉施設に呼びかけ、約70名が参加するイベントとなりました。
- ⑤ 第3地区社会福祉協議会の支援を区社協と共に積極的に行いました。事務局会議の参加を始め各種行事の後方支援を行っています。2月には地域活動把握のための勉強会を開催しました。参加団体の活動な発表により団体間のネットワーク構築ができ、それぞれの団体の活動も活発になるよう支援しています。

5 区行政との協働

西区地域福祉保健計画「にこやかしあわせくらしのまちプラン」の6つの基本目標に添って支援チームの一員として、区や区社会福祉協議会とともに取り組みました。

<安全が確保され安心なまち>

- ① 地域全体でサポートを必要とする人を見守るために、ミニデイサービスや自主事業の参加者、その他ケアプラザの機能を活用して地域の中で支援のネットワークを構築するよう、地域ケア会議などを通して働きかけを行いました。
- ② 地域防災拠点の防災訓練や防災無線講習会に参加しました。

<活気にあふれ健康なまち>

- ① 健康づくりの体操教室や介護予防教室を開催しました。ミニデイサービス「赤い靴」や地域への出前講座などで介護予防に関して、地域に対する啓発活動を行いました。
- ② 認知症を地域でも守り支えていくための啓発事業として「認知症サポーター養成講座」を第3地区社協の地域向け研修会として、また、シニアクラブで2回、西区のキャラバンメイトの方にも協力いただいて開催しました。
- ③ 顔の見える関係づくりと健康づくりのために、浜松町公園で毎週土曜日にラジオ体操を引き続き行うと同時に、地域は自主的に開催していくように、開催町内会長に提案し、参加者にも受付を手伝ってもらうなど、自主化に向けた取り組みをスタートしました。

<一人ひとりの個性を認め合いみんなが共存するまち>

- ① 障がい児の放課後支援事業を発展させ、障がい児者居場所「オープンカフェ とんぼ」として月2回開催しました。
- ② 小中学生に福祉の理解に努めることを目的に、2つの中学校から職業体験実習生を受け入れました。
- ③ 第3地区内福祉施設9館で「福祉フェスタ」を開催しました。

<地域全体がつながりを持つまち>

- ① 第3回「第3地区ふれあい春まつり」を5月17日に開催。地域の様々な団体からの参加をいただき、地区センターとの共催で藤棚まつりを5月24日に開催しました。その他西区のお祭り「区民まつり」にも参加させていただきました。
- ② 「福祉フェスタ」で第3地区懇談会としてスタンプラリーを行い、福祉施設と地域との結びつきを強めました。

<子どもが健やかに成長できるまち>

- ① 子育て支援事業として「ピーナツクラブ」を「あそびの杜保育園」との共催で毎月行いました。また、参加者の希望を活かせるような単発の事業としてパパも参加

できる「ベビーマッサージ」にも取り組みました。

- ②子育て支援者やグループが交流できるネットワークづくりとして、エリア内の子育てグループや支援者に呼びかけをして、第1回ネットワーク会議を開催し、14団体24名、第2回は13団体21名の方に参加していただきました。

＜必要な情報が正確に伝わるまち＞

- ①情報アドバイザー「e ネットにし探検隊」によるパソコン指導とインターネットの使い方指導を毎週水曜日に行っています。また、ウォーキングポイントの情報がネットでしか取れないため、自宅にパソコンがない方のために、e ネットの回線を利用して情報を提供しています。
- ②27年度から地域ケアプラザの広報紙地域版を年4回から6回に増やし、包括エリアの町内会に回覧板を配布しました。またホームページを活用して福祉保健の情報を毎月発信しています。
- ③横浜市が進めている健康スタンプラリーに自主事業のエントリーをしています。
- ④4 ケアプラザの地域活動交流が共催で「にこまちプラン」を推進するための事業の取り組みを開始しました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ①担当地区の自治会町内会や民生委員児童委員協議会、シニアクラブ、ボランティアグループの配食・会食、第3地区社会福祉協議会のひとり暮らし食事会等に参加させていただき、情報収集及び情報提供を行いました。
- ②ホームページを毎月更新し、広報紙地域版を年6回発行し、回覧板配布をしました。
- ③ボランティアの交流会、貸室の交流会を各年1回実施しました。
- ④情報提供用のラックを支援別・施設別に分けるなど来館者にわかりやすく提供できるよう整備し、最新の情報の入れ替えを行っています。
- ⑤インフォーマルサービス実施団体に関する調査を行い、各団体の方より活動内容等の情報収集を行っています。
- ⑥法人オリジナルの地域アセスメントシートを作成し、定期的に見直すことで、地域の課題分析を継続して行っています。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ①利用団体の皆様が気持ちよく利用でき、また地域で活発に活動していただける様に更新した貸室の手引きを活用し、更新団体に説明すると同時に、他施設の情報提供に努めました。また施設を利用するにあたり、年に1回のアンケートを11・12月に実施しました。
- ②要望・ご意見等には出来るだけ迅速に対応できるように努めました。また、受付には「ご意見箱」を設置しています。
- ③貸室の空き情報の提供や、ボランティア個人やグループの活動を支援し、27年度の来館者数は、月平均1,900人を超えました。
- ④団体間の連携が図れるよう「子育てネットワーク」の開催や藤棚まつり参加者による交流会を開催しました。
- ⑤1月には貸室懇談会を開催し、お互いの活動を知り、各団体の活性化を図りました。

3 自主企画事業

- ①地域に住む方々の希望やニーズにこたえ、それぞれの世代や対象者別に参加できる場の提供を年間計画に沿って提供しています。
- ②高齢者向けの健康づくりとして「さわやか体操クラブ」、居場所づくりとしての「みんなで唄おう」、「一の会」、「藤棚コンサート」を例年通り開催し、すべての事業で参加人数が増加しました。
- ③子育て支援事業では、「ピーナツクラブ」、「ベビーマッサージ」、障がい児者支援事業として「オープンカフェ とんぼ」、「絵の会」、エヌクラブによる「パンの日」を継続しています。
また、とんぼの事業として開催していた焼き芋大会を、町内会・子ども会・地区センターにも共催団体として呼びかけ、約70名が参加しました。
- ④今年度から隔月発行に増えた広報紙を活用し、自主事業への参加を呼びかけたり、施設利用団体の情報を掲載した結果、それぞれ参加者が増加しました。
- ⑤高齢者向け自主事業は、これまで自立を促した結果、自主化したものもありますが、参加者が高齢化してくるため、引き続き参加者を募集することなど後方支援をしました。
- ⑥地区センターと合同で「藤棚まつり」を5月24日に開催し、延べで1,000人以上の参加者があり、盛り上がりました。
- ⑦サブコーディネーターが企画する自主事業を引き続き開催し、27年度には高齢者向けに「和紙で作る祝い鶴教室」を12月に開催しました。
- ⑧27年度の新しい取り組みとして、ケアプラザのゆるきやら募集を行い、28年度の藤棚まつりデビューを目指しています。
- ⑨西区4ケアプラザ共催で、ケアプラザを回るウォーキングラリーを11月からスタートさせました。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ①現在ボランティア活動をされている方が継続して活動を続けられるよう、ボランティア活動の手引きを4月1日付けで更新し、ボランティア一人ひとりに説明させていただきました。また、今年度は65歳以上の方にヨコハマシニアボランティアの登録を呼びかけ、ケアプラザで4月22日に登録説明会を開催し、25名が参加し登録しました。その後、包括の介護予防事業を中心に活動を続けています。
- ②高齢者の自主事業を支えているボランティアグループは、高齢化が進み、9年間配食サービスをしていた「みつわの会」は活動を終了しました。その他のボランティアグループでも活動人数が減少している現状はありますが、広報紙でボランティアを募ったり、事業参加者の中から担い手を募集する支援を行った結果、27年度17名の新たなボランティアが登録し活動を始めました。
- ③貸室登録団体がボランティア活動に取り組めるよう、1月に開催される懇談会で説明し活動を開始していただく予定です。
- ④生きがいづくりを主目的としたボランティアグループ「キラキラ会」は行事部に加え、手芸部も月1回活動をはじめ、介護予防で使用する小物づくりなど行っています。会の代表者を中心に自主的にすすめられていて、2月からは月2回に活動が増え、まつりなどでのバザー品の作成をしました。行事部は会員が地域の知り合いを誘ったり、障がいのために就労できずにいた方をお誘いし活躍していただいております。メンバーも減ることなく継続されています。ケアプラザ事業のみでなく、地域のおまつりで健康チェックコーナーを行ったり区の事業でも活動していただいております。
- ⑤介護予防グループ「にこにこ会」のお世話係のボランティアは、2人から4人に増えました。元々は介護予防ケアマネジメントの対象者で二次予防事業対象者を卒業した方も含まれ、介護予防の必要性を理解して活動してくださる方が徐々に増えています。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- ①相談件数については、1,381件（相談：1,266件、訪問：115件）【前年比：123%】、そのうち新規相談者は179件【前年比：73%】、継続相談者は1,202件【前年比：136%】と、継続相談者からの相談が増加傾向にありました。また昨年と比較し、介護（認知症以外）と、成年後見制度の相談が増加しており、他職種との連携や、適切な情報提供等を行い対応しました。
- ②地域の高齢者等に関する相談内容について、分析をするためのチェック表を作成しています（例：末期癌の相談が多いという感覚があるが、実際にどの程度なのか…など）。それを基に分析し来年度の事業展開を検討します。
- ③地域活動交流と協働し、ケアプラザレベルの地域ケア会議を通して、地域の課題把握、公的サービスやインフォーマルサービスなどを利用し、課題解決に向け取り組んでいます。

地域包括支援ネットワークの構築

- ①法人オリジナルの地域アセスメントシートを作成し、定期的に見直すことで、地域の課題分析を継続して行っています。
- ②ネットワーク構築のためには、地域の間人関係などが課題になることがありますが、これらに対して、双方に対し“橋渡しの役割”として、人間関係がより円滑にすすめていかれるよう柔軟に対応しています。
- ③生活創造空間にしで行われているセンター会議に毎回参加し、各機関の役割や事業内容の理解をより深めると共にケアプラザの役割も理解いただきました。
- ④シニアクラブや地域の会合に29回出向き、介護予防や虐待防止の啓発など情報提供を行いました。
- ⑤第3地区民生委員児童委員協議会の定例会において、隔月で勉強会をさせていただきました。

実態把握

- ①エリア内の活動団体に対し、『インフォーマルサービス実施団体に関する調査書』を作成し、関係団体の把握をしています。その団体が高齢者などの受け皿となるか、衰退化していないか、などアセスメントをし、必要に応じて活性化を図るよう働きかけています。また、把握した団体代表者と連携を図り、ケアプラザ事業に参加している方に情報提供をして、相互に参加できるよう手配をしています。
- ②法人オリジナルの地域アセスメントシートを作成し、定期的に見直すことで、地域の課題分析を継続して行っています。

2 権利擁護

権利擁護

- ①西区在宅介護者のつどい「あけぼの会」会員向けに最新の詐欺手口について、横浜市の「防犯意識啓発広報」資料などを用いて、振り込め詐欺防止のための普及啓発活動を行いました。また、老人会「青葉会」にて「桃太郎と成年後見人」と称した当CPオリジナルの台本を基に、地域住民参加型の寸劇を行い、成年後見制度の理解を深めました。
- ②サポートネットで培った「顔の見える関係」を活かし、行政書士とともに、現在、成年後見制度の必要な方へのアプローチを進めています。
- ③個別ケースにて、悪徳リフォーム業者の出入りの連絡を受け、消費生活総合センターや警察と連携をとり被害防止に努めました。

高齢者虐待

- ①西区在宅介護者のつどい『あけぼの会』の総会では、「虐待予防研修」の一環として「ケアラー支援」の説明を行いました。食事会ではワンポイント勉強会を毎月開催しています。定期的に顔を合わせることで、虐待や権利擁護に関する相談があり、関係機関にスムーズにつなげることができました。
- ②西区の通所介護事業所・通所リハビリテーション事業所・小規模多機能居宅介護事業所・企業12か所（参加者：127名）に対して、虐待研修（虐待の種類・横浜市統計・伝言ゲーム等）を行うことで、事業所のスタッフの虐待に対する知識・意識向上につながりました。
- ③虐待ケースに対して、区と連携しながら施設入所に向けての支援をして、その後は養護者支援を継続しています。
- ④男性介護者の集いを4回開催し、介護者の日ごろの悩みなどを聞き、情報提供を行いました。また、新規の参加者にも声をかけ、参加を促しました。

認知症

- ①老人会の「青葉会」に対し「認知症サポーター養成講座」を包括支援センター主催で行いました。また第3地区社協と協力し、民生委員や町内の住民を対象とした講座を開催しました。「りそな銀行」、「そごう」、「富士見台小学校」、「一本松小学校」ではメイトとして参加し、認知症の正しい理解の促進に努めました。
- ②「認知症サポーター養成講座」を開催するため、商店街と近くの会長に相談し、高齢者が多く集まりそうな店舗を優先的に選び、呼びかけています。
- ③26年よりキャラバンメイトとなられた方々と打ち合わせ等で意見交換などしています。
- ④新しく4名の地域の方を推薦し、キャラバンメイトとなりました。
- ⑤認知症で介護負担の大きいご家族には、「あけぼの会」、「認知症カフェ」をご案内し、連携を取りながら支援しました。
- ⑥認知症サポート医を中心に「認知症の方と支える家族のための多職種ミーティング」を開催しました。その際に「認知症初期支援チーム」について地域やサービス事業所の参加者の方に情報提供しました。

3 介護予防マネジメント

二次予防対象者把握

- ①チェックリスト施行は9月で終了しましたが、6事業、100人の方に行いました。そのうち介護予防ケアマネジメントは8名の方に行い、3名が卒業、5名の方が継続を希望しております。介護予防ケアマネジメントは4名の方がケアプラザ事業につながっており、1名の方は目標であった『栄養管理』が達成できなかったため、ウォーキングポイント事業につなげました。
- ②二次予防事業対象者は、全員に対し相談票を作成し、意思の確認をしました。ほとんどの方は、ケアプラザの事業を利用しており、活発に活動中であり、必要に応じて、地域活動交流・包括問わず、事業の情報を提供し参加につなげました。体調不良の相談を受け介護保険の申請につなげた方もいます。
- ③相談者に対し訪問時チェックリストを行い、介護保険が必要か予防事業対象なのかなどアセスメントの材料にしました。

介護予防ケアマネジメント力

- ①介護予防支援は、サービスにつなげることでなく意欲をもった生活ができるということが目的であり、ケアプラザ事業に参加する方のなかで、実際顔つきがいきいきと輝くなど変化された方がいました。
- ②委託ケアマネジャーに対して、ケアプラン見直し時に包括担当、介護予防事業管理者(保健師等)、ケアプラザ管理者の順で確認し、意欲が引き出せるようなケアプランとなっているか、必要であれば、予防支援の考え方から書き方について委託ケアマネジャーに説明しました。また必要に応じ、ケアプラザ事業や町内会行事の情報提供をしました。
- ③28年1月に主任ケアマネジャー主催の新人ケアマネ研修で介護予防ケアプランの書き方研修を行いました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ①地域の敬老会や高齢者サロン「赤い靴」、西区在宅介護者のつどい「あけぼの会」等、地域住民に対し専門職が「健康講座」、「虐待防止について」、「介護保険制度」等の出前講座を行いました(29回)。
- ②地域活動交流と包括3職種で、民生委員児童委員協議会に出向き、「成年後見人制度」、「虐待防止」、「介護保険制度」等の勉強会を行いました。また「遺言書」をテーマに民生委員の方々と寸劇を一緒に行いました。
- ③ケアマネジャーのケアマネジメントを支援するため、地域の方向けの講座や、地域ケア会議を通しケアマネジャーの役割について周知しました。
- ④ケアマネジャーと民生委員の交流会を開催し、ネットワーク作りに努めました(1回)。
- ⑤西区社会福祉協議会主催の「高齢者福祉分科会」に参加し、今年度は地域の見守りをテーマに「包括支援センターの役割」、「認知症サポーター養成講座」、「西区在宅介護者のつどい あけぼの会」について勉強会を行いました。次回は「担い手作り」について勉強会を行う予定です。

医療・介護の連携推進支援

- ①地域ケア会議を通して地域に関わりのある医療機関とケアマネジャーとの連携を図るため、情報共有や検討を行いました。
- ②西区在宅医療相談室運営事務局会議に包括支援センターとして参加させていただきました。
- ③日常的に医療機関、関係事業所からの退院についての相談を受け、必要時には西区在宅医療相談室と連携を図り、病院や自宅に訪問し、対象者の状況を把握し、ケアマネジャーやサービス事業所につながるよう調整し、在宅生活を支援しました。
(77件)
- ④相談の中で医療が必要な方には、西区在宅医療相談室や病院等の医師・MSWに積極的に働きかけ連携を図っています(10件)。
- ⑤地域の医療機関にお知らせ等を持参し、ご挨拶を兼ねて訪問しています。
- ⑥『介護・医療の連携推進支援』ファイルを作成し訪問した医療機関と医療連携相談室との相談内容について記録しました。
- ⑦『西区在宅医療相談室との連携について』、28年度に設立される戸塚区から依頼を受け、講義を行い、その後のグループワークに参加しました。

ケアマネジャー支援から

- ①ケアマネジャー同士の連携支援及びスキルアップを目標に、西区4包括共催で「ケアマネサロン」を開催しました。内容は、区との共催で行った「高齢者虐待」をはじめとし、「高齢者の口腔ケアについて」、「ターミナルケア」、「精神障害を持った方の対応」、「事例検討会」「マナー研修」、「ケアマネ交流会」です。
- ②エリア内でケアマネジementを行っているケアマネジャーを対象に、「ケアマネぶらっと」を開催し、ニーズに合わせた勉強会や情報交換会、主任ケアマネジャーの支援を行っています。今年度は主任ケアマネジャー資格取得希望者に講師を依頼し、勉強会を行いました。他、支援困難ケースの事例や、悩みや不安についての検討会や民生委員との交流会を行いました。
- ③ケアマネジャーからの依頼により担当者会議に出席し、支援困難事例、緊急対応時等のより良い支援体制を作っています(23件)。
- ④ケアマネジャーからの相談を受け助言等の対応をします。困難な事例はカンファレンスを行い問題解決に向けて支援します(324件)。
- ⑤新入就労ケアマネジャーに対する研修等を実施しました(28年1月22日)。
- ⑥西区ケアマネ研究会にオブザーバーとして参加し、研修会を共催する等支援を行っています。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ①医療・区・区社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会・シニアクラブ・サービス事業所等の多職種の方々を招き、地域における課題抽出と解決を目標としたケアプラザレベルの地域ケア会議を開催しています。9月に行った地域ケア会議では、区の協力を得て、専門家の講師をお招きし、「見守り」をテーマに、前回の地域ケア会議の振り返りをし、地域で行われている「見守り体制」について地域の方々に発表していただきました。
- ②ケアマネジャーを中心とし、個別ケース事例を多職種で検討し、地域課題に結び付けています。
- ③認知症事例について、医師が中心となり、地域住民他多職種間で意見交換を行う「多職種ミーティング」を開催しました。その際に認知症初期支援チームの活動についてお知らせしました。
- ④シニアクラブ、ふれあい会、民生委員児童委員協議会等に積極的に出前講座を行っています(29件)。

介護予防事業

介護予防事業

- ①平成 24 年度体力向上プログラムOB会の「にこにこ会」は相談の中で紹介したり、口コミなどで新たな参加者もあり平均 15.6 人で世話役のボランティアは 4 人に増えました。
- ②ボランティアグループ「キラキラ会」は介護予防普及強化業務『けんこう講座』や、まつりなどの地域事業の健康チェックコーナーなどのお手伝いをしています（12 月末まで 16 回）。浜松町公園の『みんなで体操』など他の事業にも参加し、個人の健康増進だけでなく、町内住民の参加を促し世話役となるなど地域の活性にもなっています。今後、浜松町公園『みんなで体操』について元気づくりステーションとしていけるようすすめていきます。
- ③27 年度は久保 1 親和会と元久保東ことぶき会に出向き、体操教室の定期開催、寸劇発表会を開催するなど活性化を図りました。

その他

- ・28 年 1 月からチェックリスト施行モデルケアプラザとして実施し、チェックリストを施行したが結局は介護保険につながったケース 1 名、事業対象者として一般介護予防事業につながったケース 3 名、訪問型短期予防サービスにつながったケース 1 名、その他家族には説明したが希望がなかったケース 3 名の計 7 名について横浜市に報告しました。

平成27年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：藤棚地域ケアプラザ

平成27年4月1日～平成28年3月31日
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護	
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	19,405	23,612	149			90,645	8,334	
	介護保険収入				7,766	22,575			
	その他								
	認定調査料					340			
	雑収入						283		
	収入合計(A)	19,405	23,612	149	7,766	22,915	90,928	8,334	
支出	人件費	13,419	24,906	0	1,466	20,105		66,697	
	事務費	1,734	1,759	143	4,296	1,123		13,708	
	事業費								
	管理費	4,680	1,241	0	0			7,525	
	その他								
	施設使用料相当額								2,750
	拠点区分間繰入金								7,557
	支出合計(B)	19,833	27,906	143	5,762	21,228		98,237	
	収支 (A) - (B)	-428	-4,294	6	2,004	1,687		1,025	

平成27年度 自主事業報告書

横浜市藤棚地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障がい児・者余暇支援「オープンカフェとんぼ」	障がい児・者を対象とした余暇支援。毎月違う内容のレクリエーションを実施しました。また、ベイスターズ観戦も親子で参加しました。	毎月第2・4火曜日 全22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
情報アドバイザー「eネットにし探検隊」	西区情報活動拠点の場として、毎週パソコン操作指導を行いました。	毎週水曜日 全53回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
山のうえサロン	山のうえの町内会館に出向き、体操・情報提供・情報交換を行いました。	毎月第2木曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで唄おう	アコーディオンの伴奏に合わせてみんなで唄う会です。閉じこもり予防・仲間づくりのお手伝いをしました。	毎月第2土曜日 全12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
さわやか体操クラブ	転倒骨折・閉じこもり予防・仲間づくりの体操教室を行いました。	毎月第2・4日曜日 全23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ピーナッツクラブ	親子支援。毎月違う内容の事業を行い沢山の親子の方々に楽しんでいただきました。保育所子育てひろば私立常設園「あそびの杜保育園」の協力で開催しました。	毎月第3木曜日 (8月は、不定期) 全12回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
作味会	男性が料理を通して仲間づくり、居場所づくりを行いました。	毎月第1木曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
一の会	書道教室の会です。心を静め書に向かいます。閉じこもり予防・仲間づくりのお手伝いをしました。	毎月第4月曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絵の会	障がい児・者をはじめ地域の人が誰でも参加できる居場所として、開催しました。	毎月第木曜日 全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで体操	浜松町公園に出向き、顔の見える関係づくり・情報提供の場としてラジオ体操を行い、体力づくりにも努めました。	毎週土曜日 全46回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
在宅男性介護者の集い	西区介護者のつどい「あけぼの会」の協力を得ながら、男性介護者を対象に悩みや相談を伺いました。	全4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
藤棚まつり	地域の人たちにケアプラザを知ってもらえるように、地区センターと合同で開催しました。	5月第4日曜日 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
-----	--------	---------

平成27年度 自主事業報告書

第3地区 ふれあい春まつり	第3地区の人が集う場、顔の見える関係づくりの構築のため、第3回目が開催されました。事務局として運営全般に参加しました。また、健康チェックコーナーを受け持ちました。	5月第3日曜日 全1回
------------------	---	----------------

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ベビーマッサージ	タッチケアを学びながら親子の絆を深めてもらうために、パパも参加できる子育て支援として開催しました。	12月13日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚コンサート	女性1名男性4名のコーラスグループによるコンサートを開催しました。	6月20日 12月5日 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏の余暇活動 「夏のチャレンジクッキング」	障がい児を対象に学校や家庭以外の人たちと、夏休みを楽しく過ごしてもらえるように、開催しました。	8月1日 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
焼きも大会	障がい児も地域のこどもたちも町内会の人と一緒に、焼き芋大会を通して交流しました。	11月10日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
和紙で折る 「祝い鶴」	サブコーディネーターが企画する事業として開催しました。和紙の折り紙でお正月飾りをつくり、手作りおやつでお茶とおしゃべりを楽しみました。	12月22日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成27年度 自主事業報告書

第3地区 福祉フェスタ	担当地域内の9福祉施設と合同で、地域の人たちに施設を知ってもらえるようにお祭りを開催しました。	10月3日 全1回
----------------	---	--------------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
冬の余暇支援 「お餅つきだよ 全員集合」	西区の自立支援協議会との共催で、障がい児・者が気軽に参加できる事業として開催しました。	1月24日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸室懇談会	貸室登録団体に対し貸室の使い方・避難経路について確認し、登録団体同士が交流できるように開催しました。	1月30日 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
藤棚交流会	日頃ケアプラザに関わってくれているボランティアや講師に感謝するとともに、ボランティアや講師同士が交流し活動が活発になるように行いました。	2月29日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
チューリップ体操 IN地区センター	健康増進のお手伝いとして、職員が地区センターに出張しました。	毎週月・金曜日 全84回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
赤い靴	高齢者支援として、ボランティアグループが毎月1回サロンの開催と夕食の配達を行いました。	毎月第4土曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚茶屋	レクや座ってできる体操、歌などをお茶を飲みながら楽し	毎月第4土曜日

平成27年度 自主事業報告書

参加者数	んで行うことができました。	全13回
------	---------------	------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネサロン	西区包括共催で、ケアマネジャーとしてのよう々な知識を得ることでスキルを高め、利用者にとって不利益にならない支援を目指し、研修会等を行いました。	年7回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアマネぶらっと	一人または小規模事業所のケアマネジャーの悩みの解消や知識・質の向上を目的とした勉強会や民生委員との交流会を開催しました。	年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚ハイツ体操クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・藤棚地域ケアプラザを含む、藤棚二丁目自治会の高齢者の活性化を図りました。 ・体操教室で健康増進を図るとともに、世話係やチームリーダーを任せることにより、個人の役割をもてることができ、生きがいのある生活を送ることができるようになりました。 	毎週金曜日 全45回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこ会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域高齢者の外出場所となりました。 ・介護予防啓発事業として、体操・うた・朗読・計算ドリルなどおこない、心身共に活性化を図り、高齢による機能低下を防ぐことができました。 	第1月曜日 第3火曜日 全24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西区サブコーディネーター研修	西区内のケアプラザ従事者（サブコーディネーター）のスキルアップを目指し研修を行いました。	2月24日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てネットワーク	ケアプラザで登録している子育てグループや地域で開催されているサロン・支援者のネットワーク会議を開催しました。	6月26日 2月5日 全2回

平成27年度 自主事業報告書

	ハ。	エ。四
--	----	-----

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域ケア会議	地域の医療機関・福祉関係者・行政等の方たちと地域における課題について話し合い、お互いのできる部分を確認しました。	年5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シルバーサロン 「ほのぼの」	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人たちを対象とした施設見学や司法書士による「遺言の書き方講座」を行うことで、自身・ご家族の将来に対する情報提供を行いました。 ・西区在宅介護者のつどい「あけぼの会」との交流会を年2回開催し、情報交換や介護者同士の悩みについて共有することができました。 	全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キラキラ会	ケアプラザで行う事業の運営補助などを通じ、高齢者でも役割を持ち、いきがいくつくりとなる場になりました。	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回定例会 ・他随時 全34回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティア受け入機関登録説明会	シニアボランティアの登録説明会を開催しました。	4月22日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	老人会の「青葉会」に対し「認知症サポーター養成講座」を包括支援センター主催で行い、認知症の正しい理解の促進に努めました。	全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座	地域の敬老会や高齢者サロン「赤い靴」、西区在宅介護者のつどい「あけぼの会」等地域住民に対して、専門職が	随時

平成27年度 自主事業報告書

山形県庁	「健康講座」、「虐待防止について」、「介護保険制度」等の出前講座を行いました。	全29回
------	---	------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚ふらっとギャラリー	地域の方の作品をケアプラザに出展しました。	全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚地域ケアプラザマスコットゆるきゃら募集	藤棚地域ケアプラザのゆるきゃらを公募しました。	全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域版広報「ふじだな夢だより」	年6回発行し、情報発信を行いました。	全6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあいクリスマスコンサート	事前の打ち合わせから参加することで、第4地区の方々の関係・交流を深めました。	12月12日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
人生これから講座	地域の人を対象に、成年後見制度や相続に関する講座を行い、また個別相談にも対応しました。	全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成27年度 自主事業報告書

ケアぷらっと歩 こう 1万歩	西区の地域ケアプラザ4館と主要な施設を巡るウォークラ リーとして、実施しました。	随時
-------------------	---	----

平成27年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
障がい児・者余暇支援 「オープンカフェとんぼ」	障がい児・者	55,331	34,331	21,000	0	41,251	14,080
	240人						
	100円						
eネットにし探検隊	地域住民	5,162	5,162	0	0	5,162	0
	555人						
	無料						
山のうえサロン	地域住民	39,519	33,319	6,200	10,017	22,782	6,720
	69人						
	100円						
みんなで唄おう	地域住民	58,144	12,844	45,300	46,764	2,980	8,400
	459人						
	100円						
さわやか体操クラブ	地域住民	105,666	69,266	36,400	92,226	0	13,440
	418人						
	100円						
ピーナッツクラブ	未就園児の親子	44,468	28,568	15,900	27,815	8,253	8,400
	368人						
	100円						
作味会	地域の男性	0	0	0	0	0	0
	85人						
	1,000円						
一の会	地域住民	51,643	26,643	25,000	42,096	2,827	6,720
	142人						
	200円						
絵の会	地域住民	0	0	0	0	0	0
	74人						
	無料						
みんなで体操	地域住民	4,104	4,104	0	0	4,104	0
	520人						
	無料						
在宅男性介護者の集い	西区内の男性	4,291	4,291	0	0	4,291	0
	28人						
	無料						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成27年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
藤棚まつり	地域住民	177,357	157,357	20,000	0	0	177,357
	1,000人						
	実費						
第3地区ふれあい春まつり	地域住民	1,000	1,000	0	0	1,000	0
	1,000人						
	無料						
ベビーマッサージ	生後2～6ヶ月の親子	22,834	21,834	1,000	22,274	0	560
	30人						
	無料						
藤棚コンサート	地域住民	10,969	10,969	0	10,000	409	560
	55人						
	無料						
夏の余暇支援	中学生以上	16,714	12,714	4,000	0	14,154	2,560
	19人						
	500円						
焼いも大会	地域住民	14,858	7,658	7,200	0	14,858	0
	72人						
	100円						
和紙で折る「祝い鶴」	地域住民	3,986	2,986	1,000	0	3,986	0
	5人						
	200円						
第3地区 福祉フェスタ	地域住民	4,950	4,950	0	3,000	1,950	0
	400人						
	実費						
冬の余暇支援 「お餅つきだよ全員集合」	地域住民	8,058	8,058	0	0	8,058	0
	89人						
	無料						
貸室懇談会	貸室登録団体	10,095	10,095	0	0	4,373	5,722
	37人						
	無料						
藤棚交流会	ボランティア	27,889	27,889	0	0	26,577	1,312
	31人						
	無料						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成27年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
にこにこ会	地域住民	0	0	0	0	0	0
	381人						
	無料						
藤棚ハイツ体操クラブ	地域住民	0	0	0	0	0	0
	959人						
	無料						
キラキラ会	地域住民	0	0	0	0	0	0
	275人						
	無料						
ブルーリッパ体操in地区センター	地域住民	0	0	0	0	0	0
	775人						
	無料						
赤い靴	地域住民	0	0	0	0	0	0
	539人						
	400円						
藤棚茶房	地域住民	6,350	6,350	0	0	6,350	0
	242人						
	200円						
よこはまシニアボランティア 受け入機関登録説明会	地域住民	0	0	0	0	0	0
	27人						
	無料						
子育てネットワーク	地域住民	5,715	5,715	0	0	2,743	2,972
	47人						
	無料						
認知症サポーター養成講座	地域住民	0	0	0	0	0	0
	62人						
	無料						
シルバーサロンほのぼの	地域住民	15,000	15,000	0	15,000	0	0
	40人						
	無料						
出前講座	地域住民	0	0	0	0	0	0
	836人						
	無料						
藤棚ぶらっとギャラリー	地域住民	1,890	1,890	0	0	1,890	0
	3人						
	無料						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成27年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
藤棚地域ケアプラザ マスコットゆるきやら募集	地域住民	4,180	4,180	0	0	4,180	0
	8人						
	無料						
域版広報「ふじだな夢だより」	地域住民	11,476	11,476	0	0	6,474	5,002
	4,972人						
	無料						
ふれあいクリスマスコンサート	地域住民	500	500	0	0	500	0
	500人						
	無料						
人生これから講座	地域住民	0	0	0	0	0	0
	69人						
	無料						
ケアふらっと歩こう 1万歩	地域住民	0	0	0	0	0	0
	2人						
	無料						
ケアマネサロン		18,705	18,705	0	18,705	0	0

事業ごとに別紙に記載してください。